

金山光一さん（大野台在住）

『スペイン巡礼の旅』に挑戦!

聖地巡礼



ドイツ人の巡礼おじさんと国際交流ディナー



ついにゴールしました!

《プロフィール》

石川県金沢市生まれ。金沢泉丘高校から早稲田大学商学部卒。教師という職業に生きがいを見出し、玉川大学で教員免許を取得。大野台中央小で教員人生をスタート。鶴の台小の校長を最後に退職し、その後は早稲田大学・都留文科大学で講座を持ち学生の人気講座となった。



ナポレオンも越えたピレネー山脈を歩く

「スペイン巡礼の旅」は四国のお遍路さんのスペイン版。巡礼コースが11あって、距離も出発地によって異なり、長いコースで900キロ以上、短いコースで100キロ強。途中にチェックポイントがあって、スタンプを押してもらおうという。ゴールはスペイン北西部のサンティアゴ・デ・コンポステーラ。キリスト教の聖地と言われている。パリで1泊した金山さんは、翌日パリからTGV（高速鉄道）で巡礼出発地のフランス・バイヨンヌに向かう。そこから金山さんが選んだ巡礼コース「フランス人の道」760キロの歩きの旅が始まった。いきなりフランス・スペイン国境にあるピレネー山脈越え。まだ元気な金山さんだったが、いきなりの山越えは大変だったという。朝の出発時間は早朝5時。まだ真っ暗な中を歩き始め、6時ころになると明るくなってきて、開いているお店を探して朝食をとるのが日課になった。ほぼ毎日25キロほど歩いて、目的の街に着くのがルーティン。昼過ぎの2時、3時に着いて街の中を散策。同じコースをたどる様々な国の人たちとの交流も楽しかったという。宿泊は、巡礼者向けの宿。宿泊代は1泊1500円ほど。長い期間の旅だけに予算的に助けられたそうだ。その代わりに、食事にはお金をかけ、現地のスペイン料理を楽しんだ。レストランでパエリアとスペインワインの夕食の日もあった。平均すると、朝食は

1300円、夕食は2000円になったという。巡礼ルートには日本人もいたが、多く会ったのは韓国人だそうだ。韓国人の牧師さんとも会話が弾む。ある街では、バル（スペインの食堂・居酒屋）で知り合ったドイツ人のおじさんとワインで乾杯。奇遇としか言いようのない日本人にも会った。なんと、相模原の凸版印刷（現TOPPAN）に勤めていたという人。「とんかつ松村」の話で盛り上がったという。雨の日の歩きはつらく、足裏を痛めもしたが、無事、ゴールのオブラドイロ広場にたどり着き、大聖堂で完歩証明書をいただく。しかし、まだ、旅は終わらない。今度はこの都市からフランスのシャモニーに飛び、50年ぶりのモンブラン登山をする。パラグライダーも体験（パイロット付き）し、氷河を上空から見ると。シャモニーではアパートを2週間借り、レンタルのマウンテンバイクで緑の草原を走り回る。相模原市内の小学校の校長を歴任し、今回71歳で40日間ほどの苦難と、世界の人々との交流を楽しんだ金山さんは、スーパーおじさんと言えそうだ。（取材：広報部I）

10月4日、18日、11月1日 ■事業報告 ■文化部 10月21日 講師：シルヴィ・ジレ＝鈴木 氏

江戸の成り立ち

第1回講義：江戸の成り立ち
大都市江戸の拡大と発展がどのように進んでいったか考え、江戸の役割を学んだ。

第2回講義：江戸庶民の衣食住
どんなところに暮らし、どんな食事、服装だったのか？江戸庶民の暮らしぶりを学んだ。

第3回フィールドワーク：史跡巡り
江戸の最初の城下町、日本橋本町周辺を歩きながら、新興都市・江戸が開かれていった時代の痕跡を辿った。

講師：久染建夫 氏



写真館がとらえたフランス人の人生の節目 1860年代～1990年代

講師の親戚の4つの写真館が1860年代より撮りためた肖像写真のコレクション。その中から人生の節目に撮られたものを見ながら、フランス人の人生の節目の迎え方や、日本との価値観の違いを考える講座でした。フランスでは、18歳で肖像写真を撮るとともに宝石をプレゼントし、代々引き継ぐためリメイクしたりすること。（取材：広報部K）

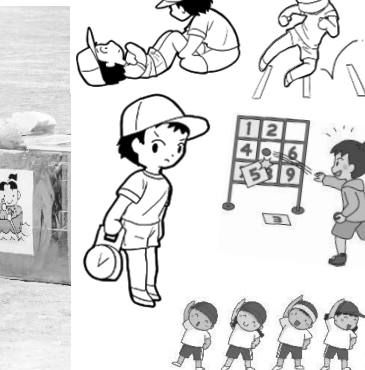


第1回

スポーツフェスティバル

抽選会!!

1等



■事業報告 ■ 文化部

第77回こもれびコンサート

9月2日(土)



昭和音楽大学声楽科出身で結成された、全員平成生まれの声楽アンサンブル『ぴいなっつ・ばたあ』さんを迎えて、『昭和』を歌う～名曲の魅力、時代を超えて～を約90名が鑑賞しました。出演者は(敬称略) ○吉岡 朋子(司会・進行)ー東京 ○すが しおりー茨城 ○落合 眞季ー鹿児島 ○荒川 菜捺ー栃木 ○福留 なぎさー鹿児島 ○石黒 友梨(ピアノ)ー兵庫 の6名で全員が平成生まれとのこと。メンバーの自己紹介の際、出身地も紹介してくださいと司会からの提案でした。紹介曲は1. 高原列車は行く 2. Tokyo 物語 3. 蘇州夜曲 4. 秋桜 5. 時の流れに身をまかせ 6. 心の瞳 7. 川の流れのように 8. LOVE 愛にまつわる楽曲のメドレー ・恋のパカンス・瀬戸の花嫁・夜明けのスカット・どうにもとまらない など全8曲とアンコールは松田聖子の 瑠璃色の地球で最高潮に達しました。また、途中で来場者と一緒に《みんなで歌おう》「上を向いて歩こう」があり、皆さん熱唱？されていました。ソロの歌をコーラスで聞くと曲に膨らみが出て味わい深いものがありました。昔の歌は良かったな～で終わらせずにもっとこうするといいなと取り組んでいるそうです。（取材：広報部S）